

玄海地域原子力防災協議会作業部会 関係機関一覧

内閣府
佐賀県
佐賀県警察本部
長崎県
長崎県警察本部
福岡県
福岡県警察本部
海上保安庁
防衛省
原子力規制庁
経済産業省 等

《 オブザーバー 》

佐賀県玄海町
佐賀県唐津市
佐賀県伊万里市
長崎県松浦市
長崎県佐世保市
長崎県平戸市
長崎県壱岐市
福岡県糸島市

九州電力（株） 等

「平成29年度原子力総合防災訓練 実施成果報告書」の概要

資料1-1

平成29年度原子力総合防災訓練【平成29年9月】

【訓練目的】

- ・国、地方公共団体、原子力事業者における防災体制や関係機関の協力体制の確認
- ・「玄海地域の緊急時対応」に基づく避難計画の検証、教訓を踏まえた緊急時対応等の改善等

【実施日】平成29年9月3日(日)、4日(月)

【対象発電所】九州電力株式会社 玄海原子力発電所

【訓練内容】

自然災害及び原子力災害との複合災害を想定し、以下の訓練を実施

- ①迅速な初動体制の確立訓練
- ②中央と現地組織の連携による防護措置の実施方針等に係る意思決定訓練
- ③住民避難等の実動訓練

訓練評価を併せて実施

- ・評価員、外部専門家による評価
- ・訓練参加者によるアンケート 等

訓練に対する評価(評価員、アンケート等)の分析

実施成果報告書【平成30年3月】

○ 訓練で確認された主な特長

- 地震との複合災害時における原子力災害に係る避難等や波浪により海路避難が困難な場合の対応を確認(人命リスクを踏まえ、安全確保を優先)
- 官邸、ERC、OFC等の各拠点の初動体制の確立及びTV会議システム等を活用した情報共有・意思決定に係る基本的手順について確認
- 北朝鮮の核実験対応のため、官邸で実施する訓練については、場所と参加者を変更するなど臨機応変に実施
- 国職員の緊急派遣において、着陸空港を佐賀空港から福岡空港に急遽変更したが、現地での緊急輸送も含めて適切に対応

● 主な要検討・改善事項

- 国の派遣要員の緊急輸送における移動状況に係る体系的な把握方法等の検討
- 防災業務関係者への放射線防護に係る助言等の発出時期・内容を含めた手順の検討
- 各拠点への統合原子力防災ネットワーク機器の充実、状況把握・分析、認識統一を図るための共通状況図の導入の検討 等

実施成果報告書を各種施策の改善等に反映

【平成30年4月以降】

- 地域原子力防災協議会での検討を通じて「玄海地域の緊急時対応」や、各種計画・マニュアル等を改善
- 今回の訓練で得られた教訓を、原子力防災体制の更なる充実や今後の訓練に反映し、継続的に改善